



受講料
無料

平成30年

6月16日(土)

13:30~16:00
(受付開始13:00)

場所 / 大阪商業大学
ユニバーシティホール蒼天

定員 / 300名 申込先着順、
定員になり次第受付終了

対象 / 学生、一般市民

後援 / 東大阪市
東大阪商工会議所
東大阪市教育委員会

鉄道とアミューズメント

地下鉄・ターミナル・野球場

開会の挨拶

13:30~

松村政樹 (大阪商業大学公共学部教授・
アミューズメント産業研究所副所長)

講演①

13:35~



「戦後大阪の鉄道網と商業・
アミューズメントセンターの
形成過程」

講師：谷内正往
(大阪商業大学総合経営学部准教授)

講演②

14:15~

「関西の鉄道企業と野球場—
その歩みを振り返る—」

講師：廣田 誠
(大阪大学教授)

講演③

14:55~



「どうなる
Osaka Metroグループの
関連事業展開」

講師：長谷川吉典
(前 公営交通研究所事務室長)

大阪のキタ、ミナミの「盛り場」はどのように発展してきたのでしょうか。戦前は市電(チンチン電車)が市内を縦横に走っていました。そのせいで盛り場も比較的分散していました。しかし、昭和初期に大阪梅田-難波間に地下鉄御堂筋線および地上道路ができますと、キタ、ミナミに百貨店や劇場が集中してまいります。戦後は難波に野球場まで誕生。関西は「私鉄王国」ですが、70年万博で地下鉄網が充実したことも、キタ、ミナミの「盛り場」イメージに貢献しました。本講座ではその歴史的過程を地下鉄、ターミナル、野球場をキーワードに読み解きます。